

内閣府における改善案

平成30年3月8日
内閣府 ImPACT室

1. プレスリリース時におけるチェック体制(別紙)

- ▶ インパクトが大きく話題性のあるプレスリリースについては、適宜、JST及び内閣府において、外部専門家(技術ヒアリング専門家)のチェック・助言を求め、発表内容の信頼性や表現振り等に問題がある場合には、PMを通じて受託研究機関に対して修正を指示。
- ▶ 受託研究機関、PM、JST及び内閣府におけるそれぞれ役割分担や責任関係を明確化したチェックリスト(別添)を作成し、公表前のチェック状況を見える化。

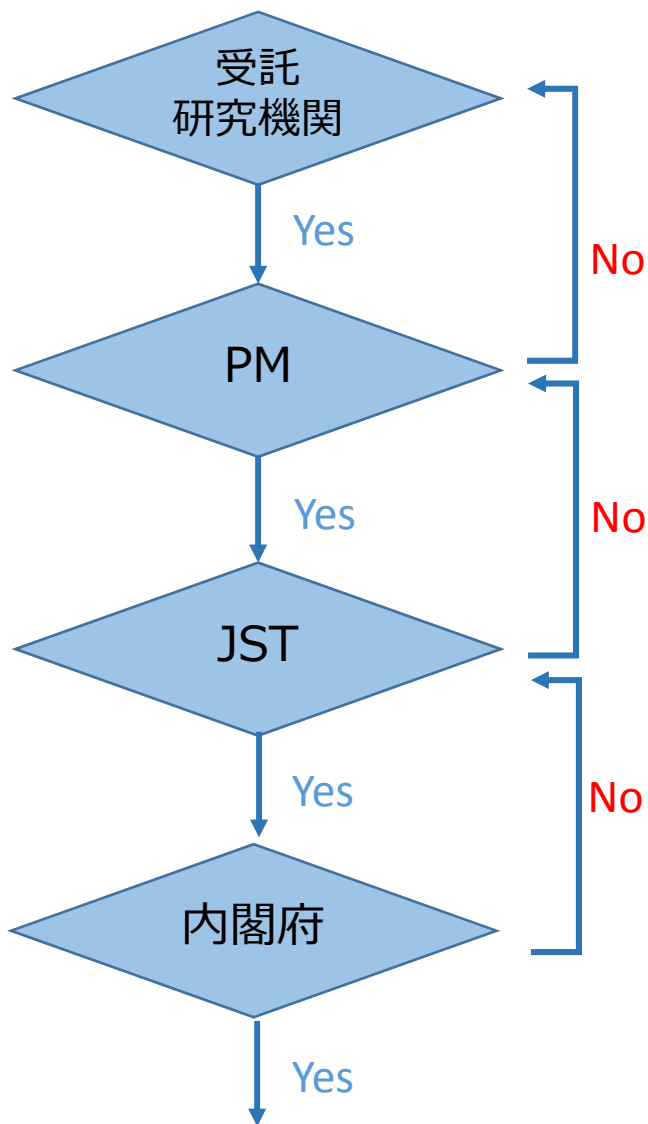
2. その他

- ▶ JSTでは、新たに広報専門家を配置し、産業界関係者等を招いたワークショップ等を積極的に開催し、ImPACTの研究成果を丁寧かつ正確に情報発信。
- ▶ 内閣府では、マスコミ関係者に対する記者懇談会等を活用して、各プログラムのねらいや進捗状況等を積極的に発信するとともに、広報に当たっての留意点等を前広に聴取。

[29年度開催実績]

回数	開催日	PM	タイトル
第1回	2017年 7月11日	佐野PM	「ユビキタス・パワーレーザーによる安全・安心・長寿社会の実現
第2回	2017年 9月7日	白坂PM	「オンデマンド即時観測が可能な小型合成開口レーダ衛星システム
第3回	2017年11月22日	藤田PM	「核変換による高レベル放射性廃棄物の大幅な低減・資源化
	2018年2月27日	ImPACTシンポジウムーハイリスク・ハイインパクト研究のダイナミズムー(公開)	

(別紙)プレスリリース時におけるチェック体制について



- 学術的な信頼性は確かか、発表内容の表現は適切か。
受託研究機関内のチェック、学会・論文発表の有無、PIによる確認 等

- 知財管理において、対外的に発表して問題ないか。
- 上記チェックに加え、PMとしても発表内容の信頼性を保証できるか。
- 発表の方法やタイミング、表現振りは適正か。
- 結果として、個別の企業、商品・サービスを宣伝するような誤解を招く発表内容や表現が含まれていないか。
PM自らのチェック、プログラム・アドバイザー(専門家)等への確認 等

- 発表の方法やタイミング、表現振りは適正か。
- 結果として、個別の企業、商品・サービスを宣伝するような誤解を招く発表内容や表現が含まれていないか。
JST内部チェック、適宜外部専門家への照会 等

- ImPACT成果にふさわしい発表であるか。
- 発表の方法やタイミング、表現振りは適正か。
- 結果として、個別の企業、商品・サービスを宣伝するような誤解を招く発表内容や表現が含まれていないか。
CSTI内部チェック、必要に応じ外部専門家への照会 等

プレスリリース

プレスリリース時の内部チェックシート

別添

プレス原稿作成者 (氏名)〇〇 〇〇 (所属)〇〇〇 (作成日)2018年〇月〇日

チェック機関	チェック項目及び確認方法	チェック欄	機関名	担当者氏名	確認日
受託研究機関等	1. 学術的な信頼性は確かか。				
	・受託研究機関内のチェック				
	・学会発表の有無				
	・論文発表の有無				
	・PI(研究代表者)による確認				
	2. 発表内容の表現方法は適切か。				
・受託研究機関内(広報部門)のチェック					
・PI(研究代表者)による確認					
P M	1. 発表内容の信頼性を保証できるか。				
	2. 発表の方法やタイミング、表現振りは適正か。				
	3. 知財管理において、対外的に発表して問題がないか。				
	4. 結果として、個別の企業、商品・サービスを宣伝するような誤解を招く発表内容や表現が含まれていないか。				
J S T	1. 発表の方法やタイミング、表現振りは適正か。				
	・外部専門家への照会の有無				
	2. 結果として、個別の企業、商品・サービスを宣伝するような誤解を招く発表内容や表現が含まれていないか。				
	・JST内部(広報部門)のチェック				
・外部専門家への照会の有無					
内閣府	1. ImPACT成果にふさわしい発表であるか。				
	・外部専門家への照会の有無				
	2. 発表の方法やタイミング、表現振りは適正か。				
	・外部専門家への照会の有無				
	3. 結果として、個別の企業、商品・サービスを宣伝するような誤解を招く発表内容や表現が含まれていないか。				
・外部専門家への照会の有無					

注: チェック欄には、該当箇所には☑を入れる。